

# たたら の原世界 —日・中・韓の 中世製鉄—



韓国・忠清北道大元里遺跡

日時 2019年 開場12:00  
1月26日(土) 13:00~16:40  
会場 えひめ共済会館 4階会議室  
(松山市三番町5丁目13-1)

＜研究発表＞ \* 通訳あり

- 「中国唐宋時代における製鉄炉」 李 映福 (四川大学)
- 「韓国における中世製鉄遺跡の検討 — 忠州・多仁鐵所地域を中心に —」  
趙 録柱 (中原文化財研究院)
- 「報恩大元里遺跡の製鉄炉について」 朴 相賢 (湖西文化遺産研究院)
- 「中世における製鉄技術の革新と生産地形成」  
角田 徳幸 (島根県埋蔵文化財調査センター)

日本における中世は、近世に確立するたたら吹き製鉄に向けて完成度を高めつつある時代であり、日本で生産される鉄が海外からも注目され始める時代でもありました。中国や韓国では近年、日本の中世と同時期の製鉄遺跡が相次いで発見されています。本シンポジウムではこうした最新の発掘成果を紹介しながら、日・中・韓の中世製鉄の比較を試みたいと思います。



島根県邑南町中ノ原遺跡



中国・四川省沙子墩遺跡

主催・お問い合わせ

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番  
HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

TEL 089-927-8391  
E mail [kotetsuaic@gmail.com](mailto:kotetsuaic@gmail.com)

申込不要  
入場無料